



令和4年の東京税関における知的財産侵害物品の差止状況 ～ 輸入差止点数が7年ぶりの30万点超え ～

1. 差止点数が30万点超え

輸入差止点数は358,215点（前年比186.8%）となり、平成26年（2014年）以来、7年ぶりに30万点を超え、輸入差止件数は4,293件（前年比101.9%）となりました。

2. 中国来の差止めが依然として高い水準

中国来の差止点数は241,833点（構成比67.5%、前年比204.4%）、差止件数は2,488件（構成比58.0%、前年比98.1%）となり、点数・件数ともに平成19年（2007年）以降、最大の仕出国となっています。

次いで、ベトナム来の差止点数・件数が昨年より増加傾向にあり、構成比も高い割合となっています。

3. 商標権侵害物品の割合が引き続き高い水準

商標権侵害物品の差止点数は207,565点（構成比57.9%、前年比138.5%）、差止件数は4,041件（構成比93.1%、前年比100.2%）となり、点数・件数ともに引き続き大きな割合を占めています。

4. 健康や安全を脅かす危険性のある物品が増加

医薬品、煙草及び喫煙用具、電気製品など、健康や安全を脅かす危険性のある物品の差止めが増加しました。

5. 輸出で13万点の差止め

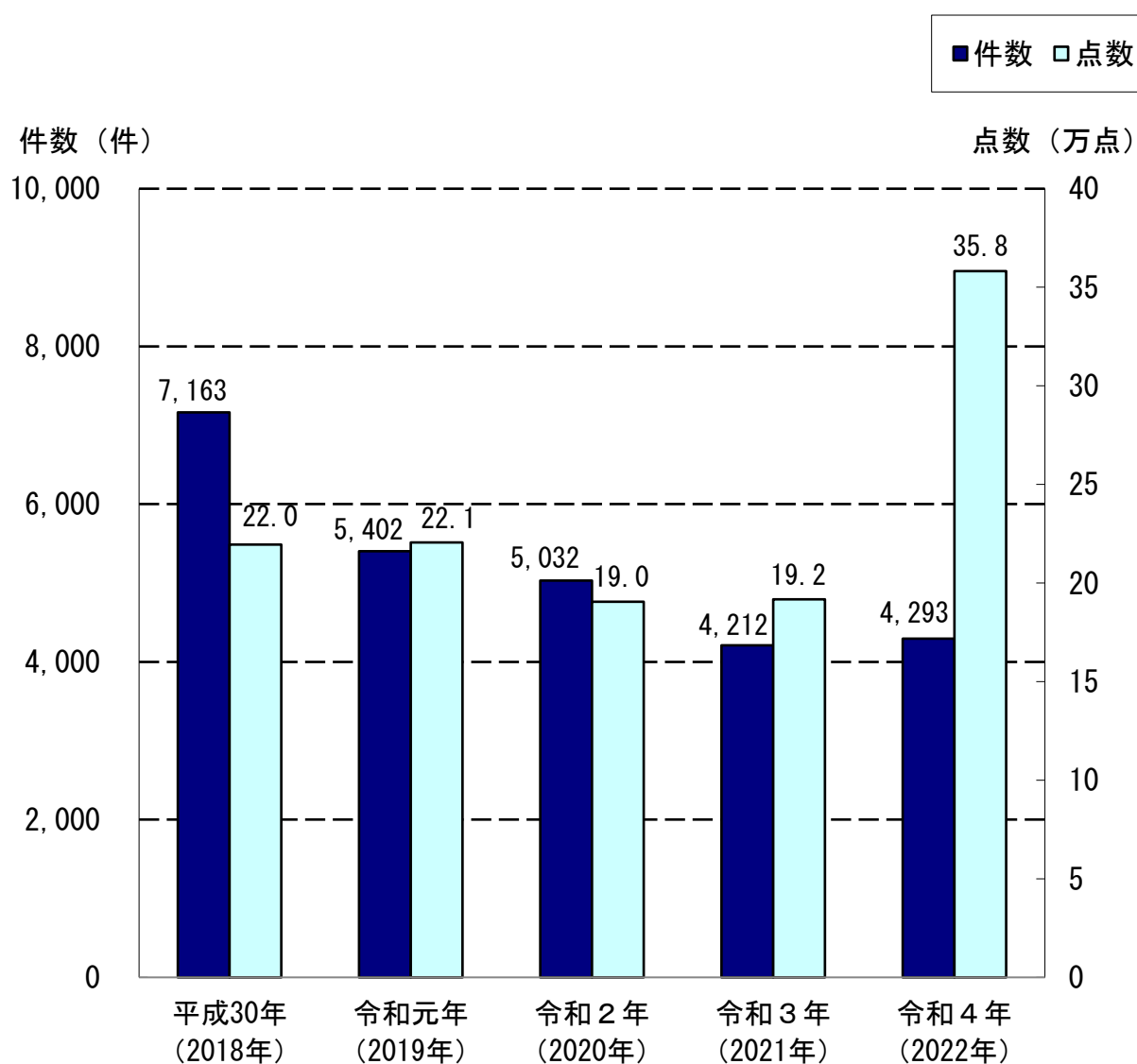
輸出差止点数は131,980点、輸出差止件数は3件となりました。

【お問い合わせ先】
東京税関 税関広報広聴室
TEL 03-3599-6264
FAX 03-3599-6442

令和4年における知的財産侵害物品の差止状況（詳細）

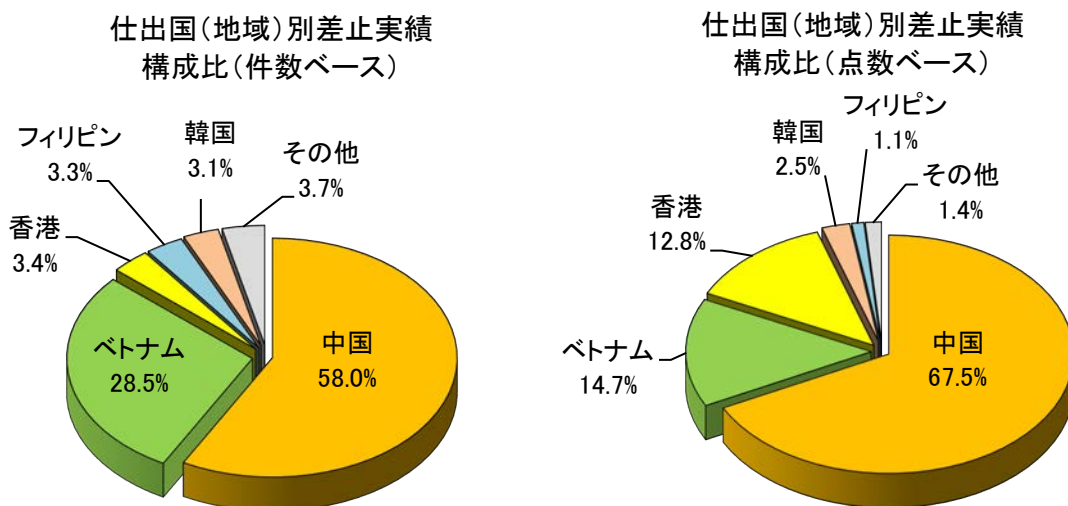
「差止件数」とは、税関が差し止めた知的財産侵害物品の輸入申告及び郵便物の数です。
「差止点数」とは、税関が差し止めた知的財産侵害物品の数です。
例えば、1つの輸入申告において、20点の知的財産侵害物品が含まれていた場合は、1件20点として計上しています。

知的財産侵害物品の輸入差止実績
平成30年～令和4年（2018年～2022年）



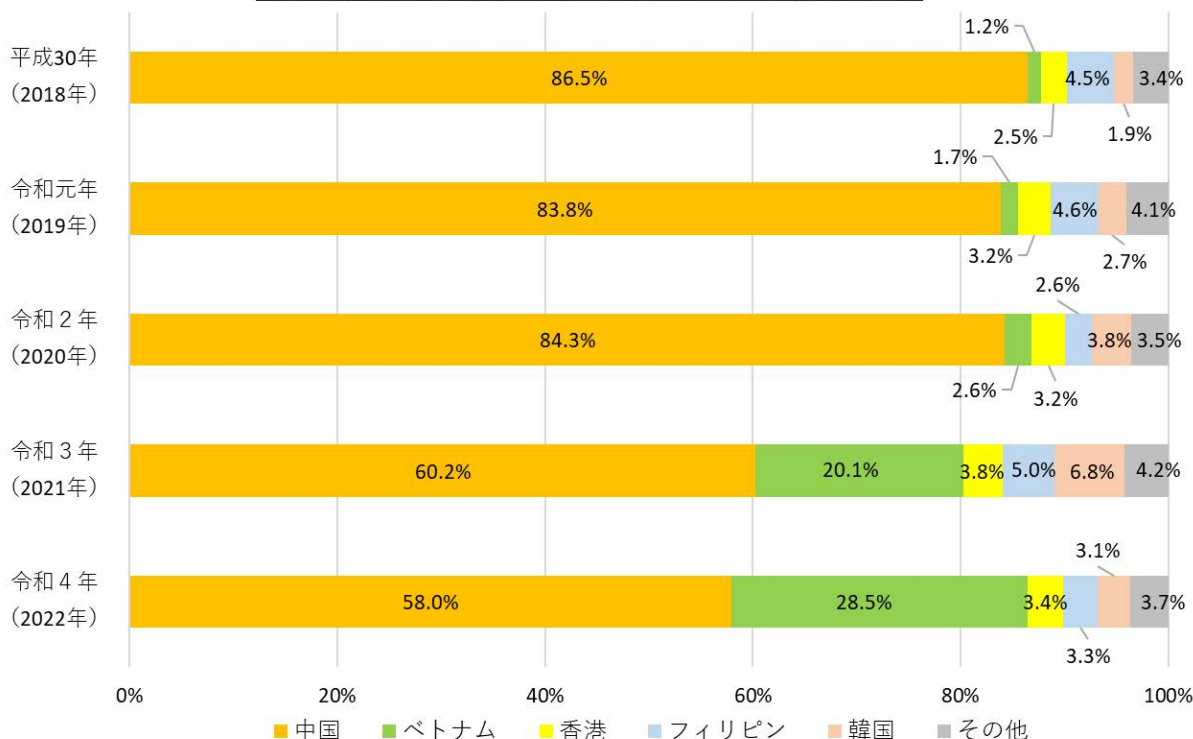
○仕出国（地域）別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、中国来が 2,488 件（構成比 58.0%、前年比 98.1%）、次いでベトナム来が 1,225 件（構成比 28.5%、前年比 145.0%）、香港来が 145 件（構成比 3.4%、前年比 90.6%）となりました。
- 輸入差止点数は、中国来が 241,833 点（構成比 67.5%、前年比 204.4%）、次いでベトナム来が 52,709 点（構成比 14.7%、前年比 139.2%）、香港来が 45,995 点（構成比 12.8%、前年比 316.3%）となりました。



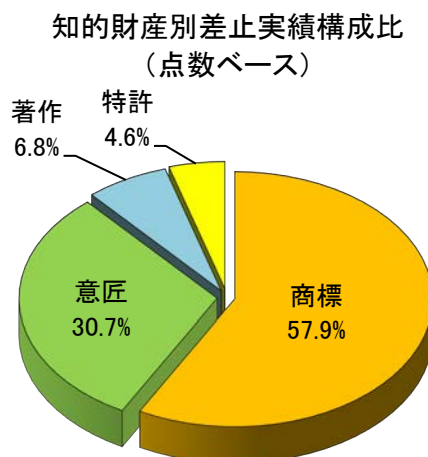
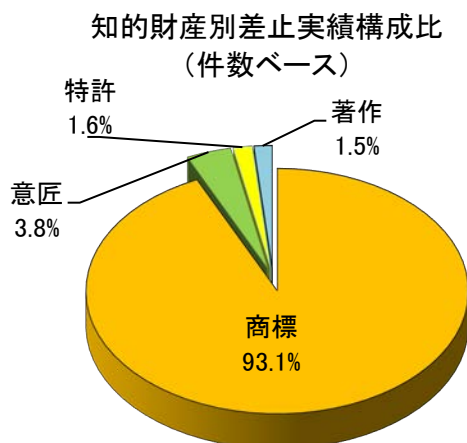
（注） 四捨五入しているため、構成比の合計が 100%とならない場合があります。

（参考）仕出国（地域）別輸入差止件数構成比の推移



○知的財産別輸入差止実績

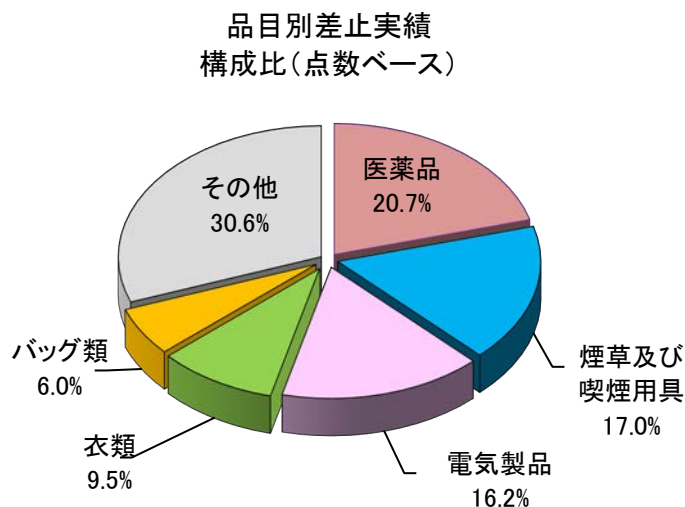
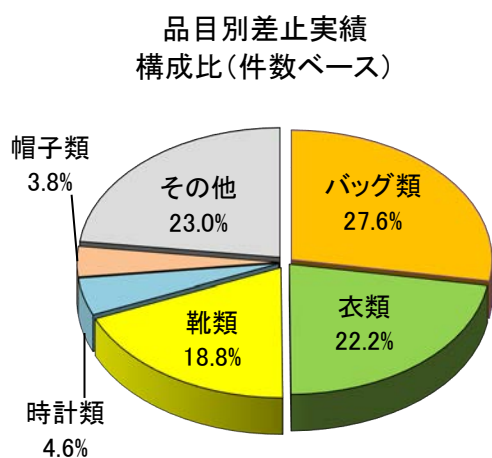
- 輸入差止件数は、偽ブランドバッグなどの商標権侵害物品が 4,041 件（構成比 93.1%、前年比 100.2%）で大半を占めています。次いでデザインを模倣した意匠権侵害物品が 163 件（構成比 3.8%、前年比 163.0%）、スマートフォンのグリップ・スタンドなどの特許権侵害物品が 69 件（構成比 1.6%、前年比 127.8%）、となりました。
- 輸入差止点数は、商標権侵害物品が 207,565 点（構成比 57.9%、前年比 138.5%）、次いで意匠権侵害物品が 109,979 点（構成比 30.7%、前年比 510.5%）、著作権侵害物品が 24,302 点（構成比 6.8%、前年比 268.0%）、となりました。



(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が 100% とならない場合があります。

○品目別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、バッグ類が 1,659 件（構成比 27.6%、前年比 99.0%）、衣類が 1,335 件（構成比 22.2%、前年比 123.3%）、靴類が 1,126 件（構成比 18.8%、前年比 132.9%）となりました。
- 輸入差止点数は、医薬品が 74,100 点（構成比 20.7%、前年比 185.3 倍）、煙草及び喫煙用具が 60,902 点（構成比 17.0%、前年比 10.5 倍）、電気製品が 58,032 点（構成比 16.2%、前年比 174.0%）となりました。

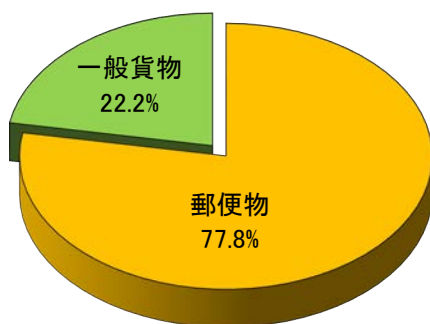


(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が 100% とならない場合があります。

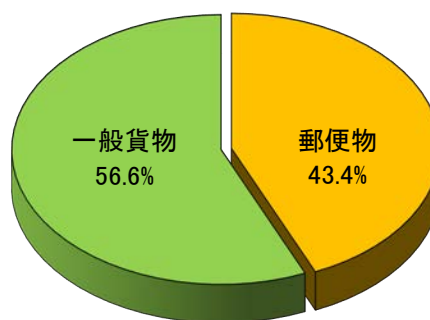
○輸送形態別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、郵便物が 3,339 件（構成比 77.8%、前年比 95.2%）、一般貨物が 954 件（構成比 22.2%、前年比 135.7%）となっており、郵便物が大半を占めています。
- 輸入差止点数は、郵便物が 155,588 点（構成比 43.4%、前年比 200.8%）、一般貨物が 202,627 点（構成比 56.6%、前年比 177.3%）となっており、点数は一般貨物の割合が多くなっています。

輸送形態別差止実績構成比
(件数ベース)



輸送形態別差止実績構成比
(点数ベース)

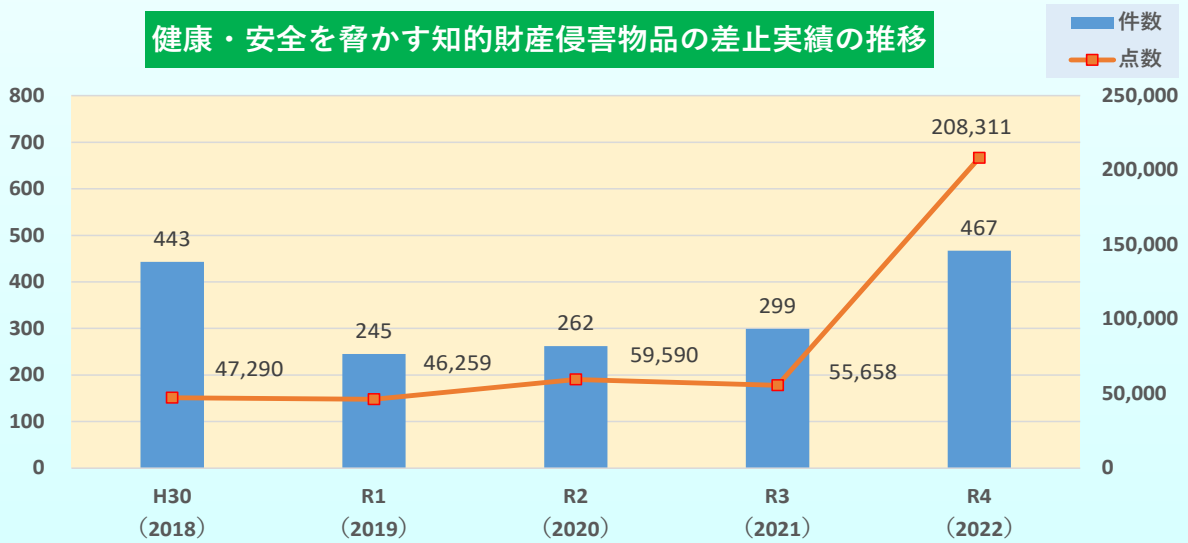


(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が 100% とならない場合があります。

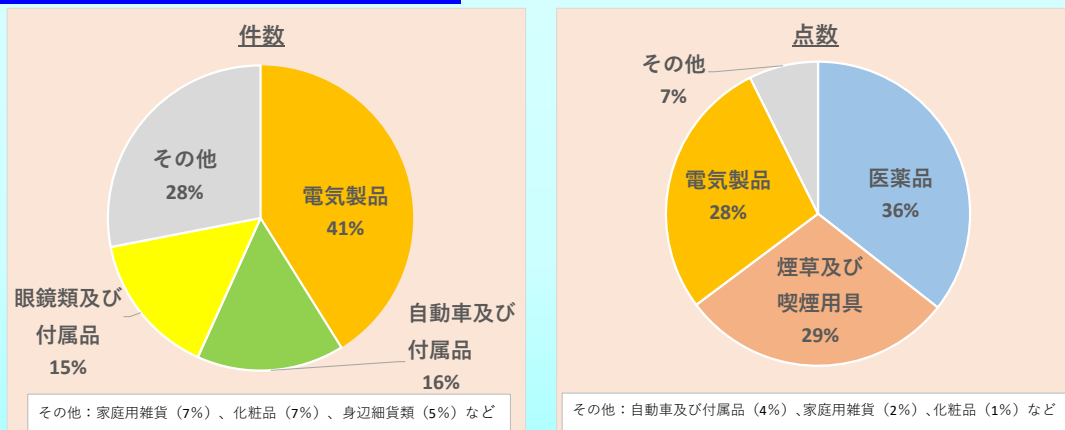
<トピック> 健康や安全を脅かす危険性のある物品の差止めについて

医薬品や電気製品などの健康や安全を脅かす危険性のある知的財産侵害物品の差止めは、467件、208,311点となっており、件数・点数ともに増加傾向にあります。

健康・安全を脅かす知的財産侵害物品の差止実績の推移



○件数・点数別構成比（令和4年）



○差し止めた侵害物品の例



上記侵害物品の中には、ネットで販売されているものもあり、中には一見して粗悪品と分かるものも含まれております。「健康被害のおそれのある物品」や「使用中に事故などを起こす危険性のある物品」については、消費者の健康・安全への悪影響が懸念されます。

値段が著しく安いものや、品質表示・保証の内容が十分に確認できない場合、販売者の身元が明確でないネット通販などにはご注意ください。